



市の木 ラカンマキ

とうがね 議会だより

第145号 平成22年11月1日 発行
発行 東金市議会
〒283-8511
東金市東岩崎1番地1
電話 0475 (50) 1181
発行人 東金市議会議長 松戸 進



ゆめ半島 千葉国大 バレーボール

平成22年第3回 東金市議会定例会

平成22年度東金市病院事業特別会計予算など 10議案を可決・認定・同意

平成22年第3回東金市議会定例会は、9月3日から9月22日までの20日間の会期で開かれました。
本定例会では、市長提出の18議案と追加議案2件のうち、10議案が可決・認定・同意され、平成21年度各会計決算認定10議案については特別委員会を設置し付託、閉会中の継続審査となりました。
また、議員提出の発議案2件は可決されました。
上程された請願1件は採択、陳情4件のうち1件が一部採択、3件が不採択となりました。また、継続審査となっていた陳情1件は不採択となりました。
市政に関する一般質問には、各会派から代表質問に4名、個人質問に5名が質問席に立ち、地域医療や地域の活性化、高齢者対策、学校教育など幅広い課題について活発な議論が行われました。

市長提出議案

◆第1号議案

東金市国民健康保険条例の一部を改正する条例の制定について

「国民健康保険法」の一部の改正に伴い、同法の規定を引用する関係規定について所要の整理を図るためのもの。
(原案可決・賛成多数)

◆第2号議案

東金市特別会計条例の一部を改正する条例の制定について

地方独立行政法人東金九十九里地域医療センターの設立に關連して東金市病院事業特別会計を設置するためのもの。
(原案可決・賛成多数)

◆第3号議案

東金市情報公開条例及び東金市個人情報保護条例の一部を改正する条例の制定について

地方独立行政法人東金九十九里地域医療センターの設立に關連して同法人を条例に基づき情報公開及び個人情報保護を行う実施機関とするためのもの。
(原案可決・賛成多数)

◆第4号議案

平成21年度東金市一般会計決算の認定について

歳入総額19億6千万円、298万5千円で、前年度に対し19億1,107万3千円、10.8%の増額、歳出総額19億6,311万9千円で、前年度に対し18億3,7万2千円で、7度に対し2億9,7

◆第5号議案

平成21年度東金市国民健康保険事業特別会計決算の認定について

歳入総額65億823万6千円で、前年度に対し3億4,689万3千円、5.1%の増額、歳出総額63億4,489万6千円で、前年度に対し3億8,683千円、5.1%の増額となったもの。
(継続審査)

◆第6号議案

平成21年度東金市老人保健特別会計決算の認定について

歳入総額1,807万2千円で、前年度に対し2億9,7

◆第7号議案

平成21年度東金市後期高齢者医療特別会計決算の認定について

歳入総額4億172万2千円で、前年度に対し9,611万6千円、2.5%の増額、歳出総額3億9,475万9千円で、前年度に対し1,600万2千円、4.2%の増額となったもの。
(継続審査)

◆第8号議案

平成21年度東金市介護保険事業特別会計決算の認定について

歳入総額1,807万2千円で、前年度に対し2億9,7

◆第9号議案

平成21年度東金市下水道事業特別会計決算の認定について

歳入で収入済額15億7,650万8千円、前年度に対し5億5,970万6千円、26.2%の減額、歳出で支出済額15億6,209万9千円、前年度に対し5億5,309万6千円、26.1%の減額となったもの。
(継続審査)

※お知らせ

公職選挙法では、議員等は「選挙区内にある者に対し、いかなる名義をもってするを問わず、寄附をしてはならない。」とされていることから、東金市議会では、虚礼廃止を徹底すべく申し合わせています。

平成22年第3回(9月)東金市議会定例会に通告された一般質問の項目

◎は質問者 (通告順に掲載)

Table with 3 columns: 要旨 (Main Points), 会派 (Party), 状況 (Status). Rows include questions on medical centers, disaster relief, taxes, and infrastructure.

一般行政

3月に締結した協定書を補完する意味合いで、未確定部分について確認・合意した。住民説明会の予定については区長会役員会で説明し、できるだけ区民の方々に伝えていた。住民説明会は、今後も実現させていきたい。

市役所1階ロビーで本会議をご覧いただけます。現在、議会中継放映の試行として、市役所庁舎内に限って議場の中継放映を行っています。市役所1階のロビーに設置されたテレビで、本会議の様子をご覧いただくことができます。

答 マルメゾン市とは、平成2年に姉妹都市の締結をして今年で20年目を迎える。主に文化や教育方面での交流が続けられている。現在この交流が若干下火になってきているのは事実で、経済状況等の理由もある。また、マルメゾン市は世界中に姉妹都市を持つっており、市長が変わってこのあり方を見直す考えも出されている。ほぼ地球の反対側という位置関係でもあり、頻繁な交流は難しい。

福祉・教育

問 国民健康保険税について (陵志会 清宮利男)
国民健康保険税の収納率については、平成18年度全国市町村ランキングのワースト5に千葉県の3市が入っており、5位が東金市であった。平成21年度の当市の国民健康保険の収納状況は、現年課税分80%、滞納繰越分17.8%、合計56.3%で、約12億7000万円が未納として処理された。収納率が悪いということ、税の公平性が保たれていないということ、だと思いが、当局の考え方を伺いたい。

答 粛々と行っていく以外に方法はないと認識している。しかし、生活に密着した国民健康保険税は、市民目線に立った納付相談により、分納等の対応が中心となることはいたし方ないという考えでもある。財産調査等を行い、支払う能力がある滞納者に対しては、財産の差押え等の滞納処分を行い、税負担の公平性を確保し、徴収率の向上を図り、健全な国民健康保険事業の財源確保に取り組んで行く。

問 児童虐待防止対策について (公明党 佐竹真知子)
虐待を招いた母親は、若年妊娠、望まない妊娠等の問題とともに、育児不安、養育能力の低さ、感情の起伏が激しいといった心理的・精神的な問題を抱えている場合が多いことも明らかになった。地域から孤立し、育児不安や経済的不安などによる生活ストレスを抱え、外部からの接触を拒む家庭には、何らかの形で丁寧な支援が必要であり、虐待する親自身も本当は支援を求めているのではないかと、児童虐待や家庭関係、経済問題などに関する相談が増えてきていると思うが、こうした問題を抱えた家庭への相談体制について伺いたい。

答 相談体制は、子育て支援課に専任の家庭相談員を配置し、見識に基づく相談業務に当たるとともに、担当職員との連携を図って対応している。緊急性を視野に入れた対応を行う場合も関係機関への連絡体制が構築されており、必要な助言を得やすい状況である。しかし、相談内容が多様化・複雑化する一方で育児の基本的な知識の欠如に伴う相談も増加しており、対応に苦慮している。

問 埋蔵文化財の保存について (蒼政会 大野政廣)
市の開発に伴い、様々な箇所調査・発掘がなされ、多くの文化財が発見されたと聞いている。千葉東テクノグリーンパークや圏央道などは本市に必要な開発であったが、現在それで発掘された資料はどのように保管され、活用されているのか。また、市内でミニ美術館を行っている方がいると聞いているが、その方々と連携を図り、活用することは考えられないのか伺いたい。

答 埋蔵文化財の資料は小野地区にある倉庫に遺構順、出土番号順に区分して収蔵している。貴重な文化財の一部は東金文化会館や市役所ロビーに展示し、昨年度は県教育振興財団主催の出土遺物巡回展に出展協力した。その他、県立中央博物館や房総のむらでも長期貸し出しによる常設展示をしている。また、ミニ美術館については3ギャラリーを把握しており、開設者と協働で企画展等ができるか今後検討して行きたいと考えている。

問 小学校英語教育の推進について (東桜会 前嶋里奈)
いよいよ来年4月より小学5・6年生を対象に、英語教育が必修化される。現在、当市では4名のALTが各中学校に割り当てられ、空き時間に小学校を訪問している。好奇心旺盛な小学生が外国語の音声やリズムなどに親しみ、言葉のおもしろさや豊かに気づくには、ALTとの関わり合いが一番である。ALTを小学校中心に変えてはどうかと考えるが、ALTの有効活用、配置転換についての見解を伺いたい。

答 ALTを中学校の授業の空き時間に小学校へ派遣しているが、小学5・6年生は36学級あり、それだけでは足りず苦慮している。しかし、現段階では毎時間ALTがいる必要はなく、時には英語ノートやCDなどを使っている。当初はポディランゲージのような形でもよいし、毎時間正しい発音をしなければならぬという思いも強いと思う。ALT派遣の空白時間等をどう活かすが、今課題になっている。

問 循環バス利用による商店街活性化について (清風会 宍倉敬文)
市内循環バスは、福岡地区と豊成地区の両地区ともに昼過ぎの便は午後4時20分市役所前発で、それまでの時間が空いている。この間に便があれば、もっとまちに出て来て買い物をする利用客が増え、商店街の活性化につながると思うが、市の考えを伺いたい。

答 市役所周辺に午後4時20分まで帰る便がないことについて、地元の運営委員会でも利便性向上を求めている。利用者のアンケートの実施も予定しており、今後地元運営委員会と利便性向上について検討していきたい。また、今後の市内公共交通全体のあるべき姿については、市民、特に高齢者や買い物困難な方々の足の確保という課題とともに、中心市街地の商業地域と周辺地域、あるいは中間的な市街地の商業地域と地元地域の関係なども踏まえて、商店街活性化の側面も視野に入れて、全体的な検討を進めて行きたいと考えている。

問 共同作業と市道路管理委託について (陵志会 清宮利男)
道路わきの草刈りやU字溝の清掃など、各地区が共同作業で実施していると

ころが多いと思うが、開発や国道の移管に伴って作業量が多くなり、結果として作業時間が増えて地元負担が増大している。道路は皆のものであり、皆できれいにするという精神で共同作業を行っているが、人の手の届かないところや危険を伴う場合など、地元での対応が難しい場所への対応について伺いたい。また、除草を委託する箇所の見直し基準についてあわせて伺いたい。

答 市道の除草や側溝の浚渫は、道路管理の一環として、道路清掃業務委託、側溝浚渫業務委託で毎年実施している。道

路管理で地元での対応が困難な箇所については、地元から連絡をいただければ、現地調査の上、委託箇所への取り込み等、その対応を考える。また、除草箇所は、道路の種類、交通量、視認性、市民からの要望、苦情の有無などを判断要素として選定している。

問 まちの駅について (公明党 佐竹真知子)
栗山町のまちの駅「栗夢プラザ」を視察したが、人と人との出会いとまちの情報発信拠点としてのまちの駅は、その機能として休憩機能、案内機能、交流機能、

連携機能が挙げられている。今議会に提案された補正予算にまちの駅設置に向けた元氣アップ計画策定事業が計上されているが、どのようなまちの駅を考えているのか伺いたい。

答 まちの駅については、地域の活性化を図り、市民の方々と地域間の交流を図るため、人の集まる場所をまちなか、駅の近くに作ることを基本に考えている。補正予算が承認された後に、早い段階で検討委員会を立ち上げて、地域・市民のニーズや現在の地域にある資源を調査・検討し、まちの駅はどのタイプがよいのか、設置場所はどこがよいのかも含めて計画作りを進め、まちの駅に係わる組織作りを進めて行きたいと考えている。

平成22年第3回 東金市議会臨時会

東金九十九里地域医療センターの中期計画の認可について可決

平成22年第3回東金市議会臨時会が、去る10月1日に開かれました。この臨時会には、市長から「地方独立行政法人東金九十九里地域医療センターの中期計画の認可について」の1議案が提出され、可決されました。

市長提出議案

◆第1号議案
地方独立行政法人東金九十九里地域医療センターの中期計画について

療センターの中期計画の認可については、地方独立行政法人の規定による認可を行うに当たり、議会の議決を求めるとの。 (原案可決・賛成多数)

平成22年度
議会編纂委員会

- | | |
|------|--------|
| 委員長 | 早野 誠 |
| 副委員長 | 水口 剛 |
| 委員 | 清宮 利男 |
| | 佐竹 真知子 |
| | 宍倉 敬文 |
| | 大野 政廣 |

※ 紙面の都合上、代表質問、個人質問の一部について要旨を掲載しています。詳細については、図書館・中央公民館及び市役所情報公開コーナーにて「会議録」の閲覧、または、東金市ホームページより会議録検索システムでご覧ください。(12月上旬発行・掲載予定)
会議録検索のホームページアドレス <http://www.city.togane.chiba.jp/gikaikaigiroku/>